

元気発信プロジェクト「飯山さわごさ」事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 自然環境豊かで歴史ある飯山市にあって、近年住民の高齢化や人口の減少、商店街の空洞化が目立っているが、北陸新幹線飯山駅の開業を控え、特に将来を担う若年層の活性化が求められている。
- 飯山市の活性化を求める地元有志が集まり、これからの子どもたちの将来に夢と希望あふれる飯山市を創るため、地元住民と協働し、音楽や芸能活動などを通じた文化交流及び自然環境を見直すイベントを中心にして、地域・世代を超えて交流することにより、地域住民の活性化を図る。

事業内容

8月に飯山市戸狩スキー場とんだいら高原で多目的交流イベントを開催。

(アーティストライブ、地域の伝統芸能・サークル発表、アウトドア体験、エコバックアート展、エコファッションショー、廃油キャンドル作り、マイ箸作り、地元農産物販売・PR、婚活イベントなど)

事業効果

- 飯山の若者が手弁当で作り上げるイベントにもかかわらず、参加者が平成20年は2000人、21年は4000人、22年は5000人と着実に増加、飯山の夏のイベントとして定着してきている。
- 地域住民に対しては、やる気になればできる、という地域への誇りと自信を与えることができた。
- エコイベントによって、参加者に環境への意識を高めてもらうことができ、更に飯山の自然環境のすばらしさを知ってもらうことができた。



【イベントの様子】



【エコバックアート展】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 地域の活性化に欠かせない子供たちが将来地元に戻って来てくれるように、自分たちのふるさとに誇りを感じてもらえるイベントを通年で開催しつつ、高校生などには企画をする段階から参加してもらうなどして、日頃から地域に目を向け、ふるさとに深くかかわりを持ってもらうように仕掛けていく。
- 設立当初から地域の活性化のために絶対に必要と考えていた男女の出会いの場を通年でプロデュースしていくなどしたい。
- 「さわごさ」の活動にかかわる意欲ある若者が増えることによって、新しいビジネスや雇用が生まれたり、カップルが増えたり、新しい提案ができたりという想像もできないようなパワーが沸き起こる素地を作っていきたい。

【選定のポイント】

地域の若者が手弁当で始めたことが年々多くの参加者を集めるイベントとして成長し、地域への誇りや自信をもつことにつながっている。また、更に新しい発想や交流の輪が広がっている。

団体名	飯山さわごさ実行委員会（飯山市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	会長 庚 敏久 電話 0269-65-2879	事業費	4,508,489円
ホームページ	http://sawagosa.com	支援金額	1,642,000円